

平成30年1月28日(日) 日本を美しくする会

第251回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 安田小学校 校長 秀浦 眞吾

参加者数 8名 教頭 田中 茂秋

1、代表世話人挨拶 山崎純
このところ寒い日が続いておりますが、寒い寒いと言いながら、北海道や北陸また東北のことを考えるとこんな寒さではありません。今日はこちら安田小学校をお借りしてトイレ掃除をさせていただきますが、いつも話しておりますように、明日子供さんがトイレを使って喜んで頂けるように、少人数ですが綺麗にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
2、体験感想発表
・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)
今日は小便器と窓を担当しました。便器の方は少し磨くと綺麗になりましたが、窓は普段から掃除をされていないので相当汚れておりました。手洗い場の床の汚れと一緒に驚くほどでした
・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)
今日は小便器と女子の手洗い場をしましたが、相当な汚れで、手洗い場の排水溝は髪の毛が詰まっていて長い間掃除をされていないことが分かります。むしろトイレより外の方が汚れていると思います。これも先生方の指導次第だと思いますが、時代と言えば時代なんでしょうかね
・岡田 俊夫さん(六日市・ドメニカーナ)
今日は初めて小便器を2個掃除しました。余り汚れはなかったのですが、しかしよく磨いていると真っ黒な汚れが流れ出て綺麗になりました。今日はそんな意味では満足できていい掃除だったと思っておりますとてもいい気持ちになりました

2、体験感想発表
・佐々木 昇さん(浜田市)
このように寒くなりますと、52年から54年に大学入試の監督をしたことを思い出します。その当時に有った話ですが入試される娘さんに代って父親が女装して受験した事件です。結局トイレに行ったらばれてしまったようです。先日倫理法人会でお話を聞きました。世の中は繋がっていて、入り口が有れば、出口が有ります。食事は口から一生懸命食べて、出口は排便しますが、どうも出口は綺麗にしなくて、出口にも気を配ってほしいというお話ですその為に私たちはトイレ掃除をさせて頂いているんですねそんなことを感じるお話でした。
・松崎 純次さん(益田市・キヌヤ)
先週から喉が痛くて咳が出ます。インフルエンザではないと思いますが、どうもB型は熱が出ないこともあるようで今頃になってそうかも知れないなと思っているところです
今日は小便器2個掃除をしましたが入口の一番目の便器は凄く汚れておりましたが、その隣は全く綺麗で便器の使い方に男性の癖があるように思いました
・中島 明洋くん(中西中学校2年生)
今日は尿漉しを担当しましたが、殆ど汚れもなく綺麗であとスリッパと手洗い場のハンドソープも磨きました
綺麗になって良かったです
<中島君は241回の中西中学校の時に初めて参加してその後、7月の月例会まで連続参加し、9月、11月そして今月と8回目の参加となります。中学生さんがこんなにトイレ掃除に参加されることは本当に素晴らしいですね>

4、鍵山秀三郎相談役 一日一話より抜粋
有利なことは控えめに
自分にとって有利なこととはできるだけ控えめに。反対に自分にとって不利なこととはできるだけ多めに。
この考え方で生きてきました。有利(得意)なことを、無神経に実行していると、人の反感を買います。不利(不得意)なことを、前向きに行っておりますと、人からの理解が得られるようになります。
人間のぬくもり
人間は誰でも、大なり小なり心に傷を持っているものです。その傷をいやしてくれるものは、人間の温もり以外に有りません。温もりによって癒されていくのだと思います。私はその温もりを自分自身で身につける方法として、徹底した掃除を永年続けてまいりました。そして、できるだけ人をよろこばせることを心掛けてきました。
5、森信三先生の教え 一語千鈞より
人生生死あり
・一眼はつねに、個としての自己の将来の展望を怠らぬと同時に、他の一眼は、刻々に変化してゆく世界史の動向を見失わぬことです。
・才なきを憂えず 才の恐ろしさを知れ
・「すべて最上なるものは、一步を誤ると中間には止まり得ないで最下に転落する――」とは、げに至深の真理というべし
・秋になって身のなるような果樹で春、美しい花の咲く樹はない
・われわれ人間は、ただ一人の例外もなく、すべて自分の意思ないし力によって、この地上に生まれてきた者はない。そしてこの点に対する認識こそ、おそらくは最高最深の叡知といってよい。されば我われ人間はそれぞれ自分がこの世に派遣せられた使命を突き止めねばなるまい。
6・平澤 興先生語録より
・自ら感動せねば、人を感動させることはできない。話はなるべく説教調ではなく、自らの感動と夢とを話すことから始める。
・感謝するということは、人間が楽しく生きて、周囲を明るくし喜びを与える最高の姿である。
・修養と人生、仕事と人生はひとつである。人生を離れた修養はない。また仕事をはなれて人生はない。
・生きることは動物をはなれることである。人間の中でも自己という独特な個性を持った人間になる。酒の飲み方の中にも修練がある